

# 扇山小をよりよくするために



## 「判断基準は子どもの成長」



扇山小では令和元年度も、『学校評価』の一環として保護者・児童アンケートを行い、それを受けて教職員の「自己評価」を行いました。さらに、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の方々に「自己評価」結果を公表し、ご意見をいただきました。これらの『学校評価』の取組を通し、令和2年度は、下記を「重点目標」として地域ぐるみで本校の教育活動を推進してまいります。

**総括目標** 「自ら学び、ともに高め合う子どもの育成」  
**具体目標** 「学び続ける子」(知) 「協力し合う子」(徳) 「体をきたえる子」(体) 「がんばりぬく子」(情意)



令和2年度の重点目標  
**「自分の考えをもち、目標に向かう児童の育成」**  
 ～全教育活動の充実を通して～



### 『確かな学力』

確かな力を育む教科指導を行い、自ら学ぶ意欲を育てます。

令和元年度の成果

- ①学習習慣については、家庭学習の基本的な考え方を学年毎にまとめた「家庭学習のすすめ」を全戸に配付し、家庭との連携を図った。また、家庭学習例も毎年追加し、よりよい家庭学習ができるよう工夫を行った。
- ②学びを実感するために、振り返りの観点を明確化した。振り返りが行いやすくなり、その時間の学びを児童が感じる事ができた。
- ③引き続き全校統一した「学習規律」の掲示を行い、共通した指導を行った結果、児童の学習基盤が一層定着した。

↓

令和2年度の改善

- (1) 学習規律の徹底、アクティブラーニングの重視、家庭学習の取組など、学び方を身に付ける学習の充実に努めます。
- (2) 基礎的知識・技能の確実な定着、TT・習熟度別学習など、きめ細かな指導を行います。
- (3) 思考力・判断力・表現力を育む、主体的・対話的で深い学びの充実に努めます。
- (4) 各種調査・テスト結果を有効活用（分析、方策、改善）します。

### 『キャリア教育』

子どものよさ、可能性をのばすことや地域の特色を生かした指導を充実させ、よりよい生き方を目指す自立の心を育てます。

令和元年度の成果

- ①「扇山小学校マイノート」と称し、学期始めと学期末、そして2つの行事について取組を行ったことで、主体的に自分たちの活動を進め、今後改善を通してよりよい生活を行っていかうとする意識が生まれてきている。
- ②社会見学での体験的な活動や総合的な学習の時間における調べ学習など、積極的に地域人材を活用した。

↓

令和2年度の改善

- (1) 子どものキャリア発達の段階に応じた指導の充実と指導体制を確立します。
- (2) 自らの役割や責任を果たし、集団の中で自己を生かす指導の工夫に努めます。
- (3) 子どものよさや可能性をのばす自己評価の工夫（マイノートなどの活用）に努めます。
- (4) 勤労観・職業観を培う体験的な活動を工夫します。

### 『道徳教育』

自分や友達のよさを実感できる場の設定や、自分の暮らしや心を高める意欲をもたせる指導により豊かな心を育てます。

令和元年度の成果

- ①特別の教科「道徳」の授業力を向上させるため、参観日での道徳の授業の公開と授業研究交流を計画的に行った。
- ②挨拶運動では、児童の登校時間に合わせて児童会が挨拶を行った。玄関で行うことで、全学年と触れ合うふれあうことができ、挨拶する児童が徐々に増えてきた。

↓

令和2年度の改善

- (1) 日常の授業や行事などを活用し、自分や友達のよさを実感できる場の設定と充実に努めます。
- (2) 自分の暮らしや心を高める意欲をもたせる指導をします。
- (3) 計画的な「特別の教科 道徳」の実践と授業公開を行います。
- (4) いじめZERO・人権教育を推進します。

### 『生徒指導』

自己をよりよく導く生徒指導を行い、個と集団のよさを実感する活動を通して所属感や協力性を高め、心の居場所を作ります。

令和元年度の成果

- ①「生徒指導交流会」を定期的に行い、児童の姿や留意点について全職員で情報を共有し、関係機関とも連携しながらその後の指導に生かした。
- ②学期ごとに、教育相談アンケートや児童教育相談を実施し、児童の思いを傾聴することで「いじめは絶対にあってはならないこと」だという指導を徹底した。
- ③定期的にネットパトロールを行い、教員が見守りを行った。また、「いじめゼロ標語コンクール」に作品を応募する取組を通して、ネットトラブルについて考える機会を設けた。

↓

令和2年度の改善

- (1) 教職員の共通理解・共通行動に立った継続的で組織的な指導体制を確立します。
- (2) 心の居場所を作る学級経営を推進します。
- (3) 日常の微かな変化を見逃さない観察や教育相談、事例研などを通じた児童理解の充実に努めます。
- (4) いじめZEROの取組・不登校ZEROを目指す取組を充実します。

### 『体育活動』

運動の生活化や、継続した体力づくりを通して、自ら心身を鍛える態度を育てます。

令和元年度の成果

- ①実技講習の実施、準備運動をラジオ体操から主運動へつなげる運動へ変更、運動の頻度を確保するために次単元の技能練習を前倒して行うなど、授業内容を向上させた。
- ②大人との運動が子どもの運動強度を上げることを教員に伝え、一緒に遊ぶ機会を増やすとともに幼稚園教諭と実技研修も行うことで幼少期からの体力向上に努めた。
- ③栄養教諭と連携して食育の授業を全学年行うことで、児童の偏食改善や食に対する意識の高まりが見られた。

↓

令和2年度の改善

- (1) 生活習慣アンケート・新体力テストの結果を生かした、家庭・地域との連携による健康な生活習慣の育成に努めます。
- (2) 運動の生活化、体力づくり活動での継続した取組を推進します。
- (3) 性教育・食育指導の推進・充実を図ります。
- (4) 手洗い・うがいの励行による病気予防など健康意識や実践力を高める保健指導を充実します。

### 『安全教育』

地域・保護者・学校が一体となり児童への安全確保に努めるとともに、児童の安全意識と危険回避能力を育てます。

令和元年度の成果

- ①危機管理マニュアルの内容をより明確にしたものへと見直し、緊急時の対応の仕方について体制を確立させた。
- ②定期的に「子どもネットワーク会議」を開き、児童の様子について安全面を中心に交流を行った。
- ③アレルギーのショック症状に迅速に対応するため、養護教諭を中心に保護者と連携を密にし、迅速に指導を行った。

↓

令和2年度の改善

- (1) 外部講師を活用した様々な訓練を効果的に行い、安全意識の高揚と危険回避能力を育成します。
- (2) 緊急時の対応について今後も保護者や子どもネットワーク会議と一層連携するとともに、まちcomiメールの活用推進を図ります。

## みんなの学校 扇山

- 保護者、地域の願いや期待に応える教育活動を推進するとともに、学校の情報を発信し、相互理解の確立に努めます。
- 近隣の保育所、小・中・高との連携に努めます。
- コミュニティ・スクール制度を機能させ、地域とともにある学校を目指します。
- PTA、おやじの会、子どもネットワーク会議、学校運営協議会との連携強化に努めます。

